

なんぶのうち・みずほぜんかんりいいんかい

## 南部農地・水保全管理委員会（東御市）

・組織の活動面積 A= 106.54 ha

・組織の構成員数 約 110 人

組織形態

農地維持 ■

資源向上(共同) ■

資源向上  
(長寿命化) ■

取組開始年度

平成26年～

平成26年～

平成26年～

構成員

農業者、南部自治会、南部農業研究会、南部子供育成会、南部老人クラブ、鳥居桜保存会、北御牧小学校PTA、北御牧中学校PTA、東御市消防団南部部

### 組織の概要

千曲、鹿曲、布施の各河川に囲まれ、浅間山、蓼科山を間近に遥か北アルプスを眺望する雄大な自然に恵まれた御牧原台地、そのほぼ中心に位置する南部区は、水源がため池と井戸水のみであったがゆえの“貴重な水”を主軸に形成された分散型農村集落です。現在、総合開発による水田拡張もあって、田畑混在の区内一円を縦横に走る農道、水路等の保全管理は地域農業発展の重要なカギであり、のみならず農地・水管理保全活動は、地域活性の要として地区全体の共有する認識となっています。

## 自然豊かな地域を皆で保全管理



農道のコンクリート舗装を平日、土、日、祭日に班分けをして枠板設置、生コン打設、枠板外し等に分けてコンクリート舗装を行います。



農道の管理で農道に敷砂利をして農道の維持と農作業の往来に寄与しています。

農道の草刈りは毎年行っております。



御牧原の水田の耕作はため池の水は貴重であり、堤体の草刈りを行いたため池の管理を行っております。子供育成会、小学校PTA、老人会役員、民生委員の皆さんで農道脇の畑に花苗の植栽を行い綺麗に咲き誇る花壇は道行く人の心を癒やします。

